

# 文教関係予算のポイント

義務教育改革を推進するとともに、個性輝く大学づくりの推進や育英奨学事業の充実等の施策に重点的な予算配分。

項目	16年度	17年度	16' → 17' 増減
文教関係費	48,489億円	44,064億円	▲4,425億円 (▲9.1%) 〔▲175億円〕 (▲0.4%)

注)〔〕内は、義務教育費国庫負担金に係る平成17年度の暫定措置による影響額(4,250億円)を除いた増減。

## ◆ 義務教育改革の推進

- 義務教育費国庫負担金について、「三位一体の改革について」(11月26日政府・与党決定)及び4大臣と与党政策責任者の合意に基づき、平成17年度の暫定措置として、17年度所要額から4,250億円を減額。(21,150億円：対前年度▲3,979億円)
- 義務教育に係る経費負担の在り方については、今後、平成17年秋までに、中央教育審議会において、「三位一体の改革」に関する地方案を活かす方策や教育水準の維持向上を含む義務教育の在り方について幅広く検討する中で議論を行い、結論を得ることとされている。

## ◆ 個性輝く大学づくりの推進

- 活力にあふれ国際競争力を持つ大学づくりを支援するため、単なる機関補助の縮減・抑制を図るとともに、国公立を通じた競争原理に基づく大学改革支援策を拡充。
  - 大学教育改革の推進/特色GP・現代GP・大学院教育イニシアチブ・国際化推進プログラムなど  
(16年度：83億円 ⇒ 17年度：151億円)
  - 研究拠点機能の充実/21世紀COE (16年度：367億円 ⇒ 17年度：382億円)
- [参考]・国立大学法人への運営費交付金を算定ルールに基づき縮減  
12,416億円 ⇒ 12,317億円 (▲98億円)
- ・私学助成(経常費補助)の対前年度伸額を厳しく抑制  
平成16年度：+72億円 ⇒ 平成17年度：+35億円

## ◆ その他重要課題への対応

- 育英奨学事業の充実(1,378億円：対前年度+32億円)
  - 貸与人員の拡充(17年度：103.4万人)、貸与月額増額、海外留学奨学金の充実等
- 文化芸術の振興(文化庁1,016億円：対前年度+0億円)
  - 文化芸術の振興を図るため、①文化芸術創造プラン及び②国立新美術館、九州国立博物館などの文化拠点の整備を推進。

## ◆ 歳出効率化の推進

- 「三位一体の改革」の一環として、義務教育費国庫負担金に係る暫定措置(▲4,250億円)をはじめ、要保護及準要保護児童生徒援助費補助金(▲134億円)など、国庫補助負担金の廃止・縮減を実施(▲4,469億円)。
- 教科書購入費予算の縮減
  - 物価動向の反映や歳出効率化の観点から、▲0.6%(▲4億円)相当の単価改定を実施。
- 予算執行調査結果の反映
  - 国立大学法人運営費交付金のうち個別要求案件について措置する特別教育研究経費について、設備整備の単価を5.1%相当(▲17億円)削減。